

発達障がい児者と支援者の災害準備

将来、本県で発生が予測されている南海トラフ大地震では大きな被害が予測されています。平成28年4月に発生した熊本地震では、発達障がい児者が障がい特性により周囲からの理解が得られず避難生活に苦慮したということが報告されています。今回は、いつ発生するか分からない災害に備えるための準備について、長野保健医療大学の北村弥生先生にお話しいただきます。また、徳島県保健福祉部保健福祉政策課から、DWATや個別避難計画に関する県の取組等について情報提供をいただきます。

■講師

長野保健医療大学

特任教授 北村 弥生 先生（医学博士、防災士）



～講師紹介～

東京大学医学部保健学科卒業。

大学院で哺乳類の頭の骨の進化の研究で博士号を取得後、ハーバード大学比較動物学博物館研究員として研究を行う。

帰国後、自治医科大学解剖学教室での研究や指導を経て、国立障害者リハビリテーションセンター研究所へ異動。

「障害者の防災対策とまちづくりに関する研究」に携わり、現在は長野保健医療大学特任教授。地元の南池袋二三四町会防災部長を務めるほか、全国の社会福祉施設で防災研修を行うなど、実践活動を行っている。

■日時

令和6年10月9日（水）
午後2時から午後4時まで

■実施方法

Zoomによるオンライン配信
(URLは後日メールにてご案内いたします)

■対象・定員

発達障がい児者に関わる支援者 80名

(保健師、保育士、幼稚園教諭、障がい児通所支援事業所職員、特別支援教育巡回相談員、児童養護施設職員、発達障がい者支援専門員、県・市町村危機管理担当職員等)

右のQRコードを読み取り、徳島県電子申請サービスにてお申込みください。

※受付期間9月12日まで。

講師への事前質問も受け付けています。

※申込多数の場合は出席をお断りさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】

徳島県発達障がい者総合支援センター(ハナミズキ)
TEL:0885-34-9001 FAX:0885-34-9002

お申し込みQRコード

